

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

1.1 化学品の名称:

製品名称: Anti-AAV2 Antibody ELISA Kit for Monkey

SDS NO: 5123_1001_J-1

構成品名: AAV2 empty capsid

品番: 5123

1.2 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途: 試験研究用

1.3 供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称: 株式会社医学生物学研究所

住所: 〒396-0002 長野県伊那市手良沢岡1018-1

担当部署: SDSサポート

電話番号: 0265-76-1777

e-mail address: sds-support@mbl.co.jp

1.4 緊急連絡先電話: 0265-76-1777(月一金曜(祝祭日を除く), 09-17時)

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

2.1 GHS分類

区分に該当しない/分類できない

2.2 GHSラベル要素

絵表示なし

注意喚起語なし

特定の危険有害性

AAVは物理化学的に比較的安定で、乾燥に対しても抵抗を示す非エンベローブウイルスです。ヒトに対する病原性は知られていませんが、AAVカプシドは感染性があるものとして注意して取り扱ってください。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別:

3.2 混合物

成分名	含有量 (%)	CAS No.	化審法番号	HAZCODE_JP
AAV2 empty capsid	COI	-	-	-

この組成の特定の化学物質アイデンティティ及び/又は正確な含有量(濃度)は、営業秘密として非開示としています。

4. 応急措置

4.1 応急措置の記述

一般的な措置

気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

吸入した場合

直ちに医師の診察/手当てを受けること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

水で数分間注意深く洗うこと。

皮膚に付着した場合：多量の水/適切な薬剤で洗うこと。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

気分が悪いときは医師に連絡すること。

4.2 急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状

徴候症状及び影響に関する具体的な情報なし。

4.3 医師に対する特別な注意事項

症状に応じた治療を施す。

5. 火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

使ってはならない消火剤データなし

5.2 特有の危険有害性

特有の危険有害性データなし

5.3 消火を行う者への勧告

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

6. 漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

安全に対処できる場合は漏洩を止める。

6.2 環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

粉じんが飛散しないようにする。

6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。

二次災害の防止策

安全に対処できるならば漏えい(洩)を止めること。

危険でなければ漏れを止める。

排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

6.4 参考情報

第13章参照

7. 取扱い及び保管上の注意

7.1 取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

(局所排気、全体換気)

本品は「遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律(通称カルタヘナ法)」の第二種使用該当品のためP1レベル拡散防止措置をとってください。

安全取扱注意事項

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
取扱い後は手、汚染箇所をよく洗う。
取扱中は飲食、喫煙してはならない。

衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

7.2 保管

安全な保管条件

容器を密閉しておくこと。
涼しいところに置き、日光から遮断すること。
国際/国/地方の規則に従って保管すること。

安全な容器包装材料データなし

7.3 特定の最終用途

第1章に記載された特定の用途について、この章に記載されているアドバイスを遵守してください。

8. ばく露防止及び保護措置

8.1 管理指標

管理濃度データなし

8.2 ばく露防止

設備対策

密閉された装置を使用する。
本品は「遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律(通称カルタヘナ法)」の第二種使用該当品のためP1レベル拡散防止措置をとってください。

保護具

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

9.1 基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態：粉粒体

色：白色

臭いデータなし

融点/凝固点データなし

沸点又は初留点データなし

沸点範囲データなし

可燃性(ガス、液体及び固体)データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし

引火点データなし

自然発火点データなし

分解温度データなし

pH：適用外

動粘性率データなし

溶解度：

水に対する溶解度データなし

n-オクタノール/水分分配係数データなし

蒸気圧データなし

密度及び/又は相対密度データなし

相対ガス密度(空気=1)データなし

粒子特性データなし

9.2 その他のデータ

その他のデータなし

10. 安定性及び反応性

10.1 反応性

反応性データなし

10.2 化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

10.3 危険有害反応可能性

危険有害反応可能性データなし

10.4 避けるべき条件

避けるべき条件データなし

10.5 混触危険物質

混触危険物質データなし

10.6 危険有害な分解生成物

危険有害な分解生成物データなし

11. 有害性情報

11.1 毒性学的影響に関する情報

急性毒性データなし

局所効果

皮膚腐食性/刺激性データなし

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性データなし

呼吸器感受性又は皮膚感受性データなし

生殖細胞変異原性データなし

発がん性データなし

催奇形性データなし

生殖毒性データなし

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)データなし

特定標的臓器毒性(反復ばく露)データなし

誤えん有害性データなし

12. 環境影響情報

12.1 生態毒性

生態毒性データなし

12.2 残留性・分解性

残留性・分解性データなし

12.3 生体蓄積性

生体蓄積性データなし

12.4 土壌中の移動性

土壌中の移動性データなし

12.7 他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

13.1 廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
下水、地中、水中への廃棄を行ってはならない。

汚染容器及び包装

容器は有害廃棄物として処理する。
内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

- 14.1 国連番号またはID番号 : 3373
- 14.2 正式輸送名 :
生物学的物質、カテゴリーB
- 14.3 分類または区分 : 6.2
- 14.4 容器等級 : 該当しない
- 指針番号: 158
- 特別規定番号 : 319; 341

IMDG Code (国際海上危険物規程)

- 14.1 国連番号またはID番号 : 3373
- 14.2 正式輸送名 :
生物学的物質、カテゴリーB
- 14.3 分類または区分 : 6.2
- 14.4 容器等級 : 該当しない
- 特別規定番号 : 319; 341

IATA (航空危険物規則書)

- 14.1 国連番号またはID番号 : 3373
- 14.2 正式輸送名 :
生物学的物質、カテゴリーB
- 14.3 分類または区分 : 6.2
- 14.4 容器等級 : 該当しない

14.5 環境有害性

海洋汚染物質 (該当/非該当): 非該当

14.6 特別の安全対策

特別の安全対策データなし

14.7 MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質

バルク輸送におけるMARPOL条約付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される有害液体物質に該当しない。

MARPOL条約付属書V - HME(海洋環境に有害)

IMO規則に従うばら積みでの海上輸送は適用されない。

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法

毒物類 伝染性病原体等 分類6 区分6.2

航空法

毒物類 病気を移しやすい物質 分類6 区分6.2

15. 適用法令

15.1 当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

特化則に該当しない

有機則に該当しない

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物に該当しない。

化学物質管理促進(PRTR)法

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。
消防法に該当しない。
化審法における特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

15.2 化学安全性評価

本製品の化学安全性評価は行なわれていない。

16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN
IMDG Code, 2020 Edition (Incorporating Amendment 40-20)
IATA 航空危険物規則書 第64版 (2023年)
2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2023 TLVs and BEIs. (ACGIH)
JIS Z 7252 : 2019
JIS Z 7253 : 2019
2022 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)
厚生労働省 基安化発0111第1号(令和4年1月11日)
Supplier's data/information
化学品安全データ管理システム "GHS Assistant" Version 4.25 (<https://www.asahi-ghs.com/>)

改訂履歴

改訂情報なし

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 令和4年度(2022年度))です。

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

1.1 化学品の名称:

製品名称: Anti-AAV2 Antibody ELISA Kit for Monkey

SDS NO: 5123_2001_J-1

構成品名: AAV2 empty capsid

品番: 5123

1.2 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途: 試験研究用

1.3 供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称: 株式会社医学生物学研究所

住所: 〒396-0002 長野県伊那市手良沢岡1018-1

担当部署: SDSサポート

電話番号: 0265-76-1777

e-mail address: sds-support@mbl.co.jp

1.4 緊急連絡先電話: 0265-76-1777(月一金曜(祝祭日を除く), 09-17時)

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

2.1 GHS分類

区分に該当しない/分類できない

2.2 GHSラベル要素

絵表示なし

注意喚起語なし

特定の危険有害性

AAVは物理化学的に比較的安定で、乾燥に対しても抵抗を示す非エンベローブウイルスです。ヒトに対する病原性は知られていませんが、AAVカプシドは感染性があるものとして注意して取り扱ってください。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別:

3.2 混合物

成分名	含有量 (%)	CAS No.	化審法番号	HAZCODE_JP
主たる成分はヒト血清タンパク質	COI	-	-	-

この組成の特定の化学物質アイデンティティ及び/又は正確な含有量(濃度)は、営業秘密として非開示としています。

4. 応急措置

4.1 応急措置の記述

一般的な措置

気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

吸入した場合

直ちに医師の診察/手当てを受けること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

水で数分間注意深く洗うこと。

皮膚に付着した場合：多量の水/適切な薬剤で洗うこと。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

気分が悪いときは医師に連絡すること。

- 4.2 急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状
徴候症状及び影響に関する具体的な情報なし。
- 4.3 医師に対する特別な注意事項
症状に応じた治療を施す。

5. 火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

使ってはならない消火剤データなし

5.2 特有の危険有害性

特有の危険有害性データなし

5.3 消火を行う者への勧告

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

6. 漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

安全に対処できる場合は漏洩を止める。

6.2 環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

粉じんが飛散しないようにする。

6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。

二次災害の防止策

安全に対処できるならば漏えい(洩)を止めること。

危険でなければ漏れを止める。

排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

6.4 参考情報

第13章参照

7. 取扱い及び保管上の注意

7.1 取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

(局所排気、全体換気)

本品は「遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律(通称カルタヘナ法)」の第二種使用該当品のためP1レベル拡散防止措置をとってください。

安全取扱注意事項

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

取扱い後は手、汚染箇所をよく洗う。

取扱中は飲食、喫煙してはならない。

接触回避データなし

衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

7.2 保管

安全な保管条件

容器を密閉しておくこと。

涼しいところに置き、日光から遮断すること。

国際/国/地方の規則に従って保管すること。

安全な容器包装材料データなし

7.3 特定の最終用途

第1章に記載された特定の用途について、この章に記載されているアドバイスを遵守してください。

8. ばく露防止及び保護措置

8.1 管理指標

管理濃度データなし

8.2 ばく露防止

設備対策

密閉された装置を使用する。

本品は「遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律(通称カルタヘナ法)」の第二種使用該当品のためP1レベル拡散防止措置をとってください。

保護具

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

9.1 基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態：液体

色：無色

臭いデータなし

融点/凝固点データなし

沸点又は初留点データなし

沸点範囲データなし

可燃性(ガス、液体及び固体)データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし

引火点データなし

自然発火点データなし

分解温度データなし

pH：適用外

動粘性率データなし

溶解度：

水に対する溶解度：溶ける

n-オクタノール/水分配係数データなし

蒸気圧データなし

密度及び/又は相対密度データなし

相対ガス密度(空気=1)データなし

粒子特性データなし

9.2 その他のデータ

その他のデータなし

10. 安定性及び反応性

10.1 反応性

反応性データなし

10.2 化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

10.3 危険有害反応可能性

危険有害反応可能性データなし

10.4 避けるべき条件

避けるべき条件データなし

10.5 混触危険物質

混触危険物質データなし

10.6 危険有害な分解生成物

危険有害な分解生成物データなし

11. 有害性情報

11.1 毒性学的影響に関する情報

急性毒性データなし

局所効果

皮膚腐食性/刺激性データなし

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性データなし

呼吸器感作性又は皮膚感作性データなし

生殖細胞変異原性データなし

発がん性データなし

催奇形性データなし

生殖毒性データなし

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)データなし

特定標的臓器毒性(反復ばく露)データなし

誤えん有害性データなし

12. 環境影響情報

12.1 生態毒性

生態毒性データなし

12.2 残留性・分解性

残留性・分解性データなし

12.3 生体蓄積性

生体蓄積性データなし

12.4 土壌中の移動性

土壌中の移動性データなし

12.7 他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

13.1 廃棄物の処理方法

- 環境への放出を避けること。
- 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
- 下水、地中、水中への廃棄を行ってはならない。

汚染容器及び包装

- 容器は有害廃棄物として処理する。
- 内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

- 14.1 国連番号またはID番号 : 3373
- 14.2 正式輸送名 :
生物学的物質、カテゴリーB
- 14.3 分類または区分 : 6.2
- 14.4 容器等級 : 該当しない
- 指針番号: 158
- 特別規定番号 : 319; 341

IMDG Code (国際海上危険物規程)

- 14.1 国連番号またはID番号 : 3373
- 14.2 正式輸送名 :
生物学的物質、カテゴリーB
- 14.3 分類または区分 : 6.2
- 14.4 容器等級 : 該当しない
- 特別規定番号 : 319; 341

IATA (航空危険物規則書)

- 14.1 国連番号またはID番号 : 3373
- 14.2 正式輸送名 :
生物学的物質、カテゴリーB
- 14.3 分類または区分 : 6.2
- 14.4 容器等級 : 該当しない

14.5 環境有害性

海洋汚染物質 (該当/非該当): 非該当

14.6 特別の安全対策

特別の安全対策データなし

14.7 MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質

バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される有害液体物質に該当しない。

MARPOL条約附属書V - HME(海洋環境に有害)

IMO規則に従うばら積みでの海上輸送は適用されない。

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法

毒物類 伝染性病原体等 分類6 区分6.2

航空法

毒物類 病気を移しやすい物質 分類6 区分6.2

15. 適用法令

15.1 当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

特化則に該当しない

有機則に該当しない

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物に該当しない。

化学物質管理促進(PRTR)法

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法に該当しない。

化審法における特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

15.2 化学安全性評価

本製品の化学安全性評価は行なわれていない。

16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN

IMDG Code, 2020 Edition (Incorporating Amendment 40-20)

IATA 航空危険物規則書 第64版 (2023年)

2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2023 TLVs and BEIs. (ACGIH)

JIS Z 7252 : 2019

JIS Z 7253 : 2019

2022 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)

厚生労働省 基安化発0111第1号(令和4年1月11日)

Supplier's data/information

化学品安全データ管理システム "GHS Assistant" Version 4.25 (<https://www.asahi-ghs.com/>)

改訂履歴

改訂情報なし

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 令和4年度(2022年度))です。

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

1.1 化学品の名称:

製品名称: Anti-AAV2 Antibody ELISA Kit for Monkey
SDS NO: 5124100001_J-1
構成品名: Coating buffer
品番: 5124

1.2 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途: 試験研究用

1.3 供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称: 株式会社医学生物学研究所
住所: 〒396-0002 長野県伊那市手良沢岡1018-1
担当部署: SDSサポート
電話番号: 0265-76-1777
e-mail address: sds-support@mbl.co.jp

1.4 緊急連絡先電話: 0265-76-1777(月一金曜(祝祭日を除く), 09-17時)

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

2.1 GHS分類

区分に該当しない/分類できない

2.2 GHSラベル要素

絵表示なし
注意喚起語なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別:

3.2 混合物

成分名	含有量 (%)	CAS No.	化審法番号	HAZCODE_JP
2-アミノ-2-ヒドロキシメチル-1,3-プロパンジオール	<0.25	77-86-1	2-318	-
塩化ナトリウム	<0.90	7647-14-5	1-236	-
塩化マグネシウム・六水和物	<0.05	7791-18-6	1-233	-
水	<99.5	7732-18-5	-	-

4. 応急措置

4.1 応急措置の記述

一般的な措置

気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

吸入した場合

気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

皮膚に付着した場合: 多量の水/適切な薬剤で洗うこと。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。そ

- の後も洗浄を続けること。
- 飲み込んだ場合
気分が悪いときは医師に連絡すること。
- 4.2 急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状
徴候症状及び影響に関する具体的な情報なし。
- 4.3 医師に対する特別な注意事項
症状に応じた治療を施す。
5. 火災時の措置
- 5.1 消火剤
適切な消火剤
周辺設備に適した消火剤を使用する。
使ってはならない消火剤
使ってはならない消火剤データなし
- 5.2 特有の危険有害性
特有の危険有害性データなし
- 5.3 消火を行う者への勧告
特有の消火方法
関係者以外は安全な場所に退去させる。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
6. 漏出時の措置
- 6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
安全に対処できる場合は漏洩を止める。
- 6.2 環境に対する注意事項
漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。
- 6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材
不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。
二次災害の防止策
安全に対処できるならば漏えい(洩)を止めること。
危険でなければ漏れを止める。
排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。
- 6.4 参考情報
第8章参照
7. 取扱い及び保管上の注意
- 7.1 取扱い
技術的対策
(取扱者のばく露防止)
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
安全取扱注意事項
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
接触回避データなし
衛生対策
取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- 7.2 保管
安全な保管条件
容器を密閉しておくこと。
涼しいところに置き、日光から遮断すること。

安全な容器包装材料データなし

7.3 特定の最終用途

第1章に記載された特定の用途について、この章に記載されているアドバイスを遵守してください。

8. ばく露防止及び保護措置

8.1 管理指標

管理濃度データなし

8.2 ばく露防止

保護具

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

9.1 基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態：液体

色：無色

臭いデータなし

融点/凝固点データなし

沸点又は初留点データなし

沸点範囲データなし

可燃性(ガス、液体及び固体)データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし

引火点データなし

自然発火点データなし

分解温度データなし

pH：7.35~7.45

溶解度：

溶媒の溶解度データなし

n-オクタノール/水分配係数データなし

蒸気圧データなし

密度及び/又は相対密度データなし

相対ガス密度(空気=1)データなし

粒子特性データなし

9.2 その他のデータ

その他のデータなし

10. 安定性及び反応性

10.1 反応性

反応性データなし

10.2 化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

10.3 危険有害反応可能性

危険有害反応可能性データなし

10.4 避けるべき条件

避けるべき条件データなし

10.5 混触危険物質

混触危険物質データなし

- 10.6 危険有害な分解生成物
 - 危険有害な分解生成物データなし

11. 有害性情報

- 11.1 毒性学的影響に関する情報
 - 急性毒性データなし
 - 局所効果
 - 皮膚腐食性/刺激性データなし
 - 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性データなし
 - 呼吸器感作性又は皮膚感作性データなし
 - 生殖細胞変異原性データなし
 - 発がん性データなし
 - 催奇形性データなし
 - 生殖毒性データなし
 - 特定標的臓器毒性
 - 特定標的臓器毒性(単回ばく露)データなし
 - 特定標的臓器毒性(反復ばく露)データなし
 - 誤えん有害性データなし

12. 環境影響情報

- 12.1 生態毒性
 - 生態毒性データなし
- 12.2 残留性・分解性
 - 残留性・分解性データなし
- 12.3 生体蓄積性
 - 生体蓄積性データなし
- 12.4 土壤中の移動性
 - 土壤中の移動性データなし
- 12.5 PBT及びvPvBに関する評価結果
 - PBT、vPvB評価結果データなし
- 12.7 他の有害影響
 - オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

- 13.1 廃棄物の処理方法
 - 環境への放出を避けること。
 - 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
 - 下水、地中、水中への廃棄を行ってはならない。
- 汚染容器及び包装
 - 内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意

- 国連番号、国連分類
 - 14.1 国連番号またはID番号：該当しない
 - 14.2 正式輸送名：該当しない
 - 14.3 分類または区分：該当しない
 - 14.4 容器等級：該当しない
- IMDG Code (国際海上危険物規程)
 - 14.1 国連番号またはID番号：該当しない

- 14.2 正式輸送名：該当しない
- 14.3 分類または区分：該当しない
- 14.4 容器等級：該当しない

IATA (航空危険物規則書)

- 14.1 国連番号またはID番号：該当しない
- 14.2 正式輸送名：該当しない
- 14.3 分類または区分：該当しない
- 14.4 容器等級：該当しない

14.5 環境有害性

海洋汚染物質 (該当/非該当): 非該当

14.6 特別の安全対策

特別の安全対策データなし

14.7 MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質

- 有害液体物質(Z類同等)
- 塩化ナトリウム
- 有害でない物質(OS類)
- 水

MARPOL条約付属書V - HME(海洋環境に有害)

IMO規則に従うばら積みでの海上輸送は適用されない。

国内規制がある場合の規制情報

- 船舶安全法に該当しない。
- 航空法に該当しない。

15. 適用法令

15.1 当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

特化則に該当しない

有機則に該当しない

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物に該当しない。

化学物質管理促進(PRTR)法

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法に該当しない。

化審法における特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

15.2 化学安全性評価

本製品の化学安全性評価は行なわれていない。

16. その他の情報

参照文献及び情報源

- Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
- Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN
- IMDG Code, 2020 Edition (Incorporating Amendment 40-20)
- IATA 航空危険物規則書 第64版 (2023年)
- 2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
- 2023 TLVs and BEIs. (ACGIH)
- JIS Z 7252 : 2019
- JIS Z 7253 : 2019
- 2022 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)
- 厚生労働省 基安化発0111第1号(令和4年1月11日)
- Supplier's data/information
- 化学品安全データ管理システム "GHS Assistant" Version 4.25 (<https://www.asahi-ghs.com/>)

改訂履歴

改訂情報なし

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の実施を前提としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ（NITE 令和4年度(2022年度)）です。

Anti-AAV2 Antibody ELISA Kit for Monkey

作成日: 2023年12月07日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

1.1 化学品の名称:

製品名称: Anti-AAV2 Antibody ELISA Kit for Monkey

SDS NO: 5124200001_J-1

構成品名: Blocking buffer

品番: 5124

1.2 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途: 試験研究用

1.3 供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称: 株式会社医学生物学研究所

住所: 〒396-0002 長野県伊那市手良沢岡1018-1

担当部署: SDSサポート

電話番号: 0265-76-1777

e-mail address: sds-support@mbl.co.jp

1.4 緊急連絡先電話: 0265-76-1777(月一金曜(祝祭日を除く), 09-17時)

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

2.1 GHS分類

区分に該当しない/分類できない

2.2 GHSラベル要素

絵表示なし

注意喚起語なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別:

3.2 混合物

成分名	含有量 (%)	CAS No.	化審法番号	HAZCODE_JP
塩化ナトリウム	0.073	7647-14-5	1-236	-
アルブミン, ウシ由来(血しょう)	1.0	9048-46-8	-	-
スクロース	5.0	57-50-1	-	-
アジ化ナトリウム	<0.1	26628-22-8	1-482	Self-react. G; Acute Tox. 2, H300; Acute Tox. 1, H310; Skin Corr. 1, H314; Eye Dam. 1, H318; STOT SE 1, H370; STOT RE 1, H372; STOT RE 2, H373; Aquatic Acute 1, H400; Aquatic Chronic 1, H410;
水	<95.0	7732-18-5	-	-

4. 応急措置

4.1 応急措置の記述

一般的な措置

気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

吸入した場合

気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

皮膚に付着した場合:多量の水/適切な薬剤で洗うこと。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

気分が悪いときは医師に連絡すること。

4.2 急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状

徴候症状及び影響に関する具体的な情報なし。

4.3 医師に対する特別な注意事項

症状に応じた治療を施す。

5. 火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

使ってはならない消火剤データなし

5.2 特有の危険有害性

特有の危険有害性データなし

5.3 消火を行う者への勧告

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

6. 漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

安全に対処できる場合は漏洩を止める。

6.2 環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。

二次災害の防止策

安全に対処できるならば漏えい(洩)を止めること。

危険でなければ漏れを止める。

排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

6.4 参考情報

第8章参照

7. 取扱い及び保管上の注意

7.1 取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

安全取扱注意事項

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

接触回避データなし

衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

7.2 保管

安全な保管条件

容器を密閉しておくこと。

涼しいところに置き、日光から遮断すること。

安全な容器包装材料データなし

7.3 特定の最終用途

第1章に記載された特定の用途について、この章に記載されているアドバイスを遵守してください。

8. ばく露防止及び保護措置

8.1 管理指標

管理濃度データなし

許容濃度

(スクロース)

ACGIH(1995) TWA: 10mg/m³ (歯牙酸蝕症)

(アジ化ナトリウム)

ACGIH(1996) STEL: 上限値 (アジ化ナトリウムとして) 0.29mg/m³; (アジ化水素酸の蒸気として)

0.11ppm (心臓障害; 肺損傷)

8.2 ばく露防止

保護具

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

9.1 基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態：液体

色：淡黄色

臭いデータなし

融点/凝固点データなし

沸点又は初留点データなし

沸点範囲データなし

可燃性(ガス、液体及び固体)データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし

引火点データなし

自然発火点データなし

分解温度データなし

pH：7.35~7.45

動粘性率データなし

溶解度：

水に対する溶解度：溶ける

n-オクタノール/水分配係数データなし

蒸気圧データなし

密度及び/又は相対密度データなし

相対ガス密度(空気=1)データなし

粒子特性データなし

9.2 その他のデータ

その他のデータなし

10. 安定性及び反応性

10.1 反応性

反応性データなし

10.2 化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

10.3 危険有害反応可能性

危険有害反応可能性データなし

10.4 避けるべき条件

避けるべき条件データなし

10.5 混触危険物質

混触危険物質データなし

10.6 危険有害な分解生成物

危険有害な分解生成物データなし

11. 有害性情報

11.1 毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[日本公表根拠データ]

(アジ化ナトリウム)

rat LD50=45mg/kg (DFGOT vol.20, 2003)

急性毒性(経皮)

[日本公表根拠データ]

(アジ化ナトリウム)

rabbit LD50=20mg/kg (ACGIH, 2001)

労働基準法: 疾病化学物質

アジ化ナトリウム

局所効果

皮膚腐食性/刺激性

[日本公表根拠データ]

(アジ化ナトリウム)

ラビット 腐食性 (DFGOT vol.20, 2003)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[日本公表根拠データ]

(アジ化ナトリウム)

皮膚腐食性 区分1

呼吸器感作性又は皮膚感作性データなし

生殖細胞変異原性データなし

発がん性

[ACGIH]

(スクロース)

A4(1995): ヒト発がん性因子として分類できない

(アジ化ナトリウム)

A4(1996): ヒト発がん性因子として分類できない

催奇形性データなし

生殖毒性データなし

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)データなし

特定標的臓器毒性(反復ばく露)データなし

誤えん有害性データなし

12. 環境影響情報

12.1 生態毒性

水生環境有害性

水生環境有害性 短期(急性)

[日本公表根拠データ]

(アジ化ナトリウム)

藻類 (Pseudokirchneriellasubcapitata) ErC50=0.348mg/L/96hr (Aquire, 2010)

水溶解度

(スクロース)

200 g/100 ml (25°C) (ICSC, 2003)

(アジ化ナトリウム)

よく溶ける (41.7 g/100 ml, 17°C) (ICSC, 2014)

12.2 残留性・分解性

(アジ化ナトリウム)

直接測定(HPLC)による分解度:1% (既存点検)

12.3 生体蓄積性

(スクロース)

log Pow=-3.67 (ICSC, 2003)

(アジ化ナトリウム)

log Pow <= 0.3 (Check & Review, Japan)

12.4 土壌中の移動性

土壌中の移動性データなし

12.7 他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

13.1 廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

下水、地中、水中への廃棄を行ってはならない。

汚染容器及び包装

内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

14.1 国連番号またはID番号 : 該当しない

14.2 正式輸送名 : 該当しない

14.3 分類または区分 : 該当しない

14.4 容器等級 : 該当しない

IMDG Code (国際海上危険物規程)

14.1 国連番号またはID番号 : 該当しない

14.2 正式輸送名 : 該当しない

14.3 分類または区分 : 該当しない

14.4 容器等級 : 該当しない

IATA (航空危険物規則書)

14.1 国連番号またはID番号 : 該当しない

14.2 正式輸送名 : 該当しない

14.3 分類または区分 : 該当しない

14.4 容器等級 : 該当しない

14.5 環境有害性

海洋汚染物質 (該当/非該当): 非該当

14.6 特別の安全対策

特別の安全対策データなし

14.7 MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質

有害液体物質(Z類同等)

塩化ナトリウム

有害でない物質(OS類)

水

MARPOL条約附属書V - HME(海洋環境に有害)

IMO規則に従うばら積みでの海上輸送は適用されない。

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法に該当しない。

航空法に該当しない。

15. 適用法令

15.1 当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

特化則に該当しない

有機則に該当しない

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物に該当しない。

化学物質管理促進(PRTR)法

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法に該当しない。

化審法における特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

15.2 化学安全性評価

本製品の化学安全性評価は行なわれていない。

16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN

IMDG Code, 2020 Edition (Incorporating Amendment 40-20)

IATA 航空危険物規則書 第64版 (2023年)

2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2023 TLVs and BEIs. (ACGIH)

JIS Z 7252 : 2019

JIS Z 7253 : 2019

2022 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)

厚生労働省 基安化発0111第1号(令和4年1月11日)

Supplier's data/information

化学品安全データ管理システム "GHS Assistant" Version 4.25 (<https://www.asahi-ghs.com/>)

改訂履歴

改訂情報なし

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 令和4年度(2022年度))です。

Anti-AAV2 Antibody ELISA Kit for Monkey

作成日: 2023年12月07日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

1.1 化学品の名称:

製品名称: Anti-AAV2 Antibody ELISA Kit for Monkey

SDS NO: 5124300001_J-1

構成品名: Sample diluent

品番: 5124

1.2 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途: 試験研究用

1.3 供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称: 株式会社医学生物学研究所

住所: 〒396-0002 長野県伊那市手良沢岡1018-1

担当部署: SDSサポート

電話番号: 0265-76-1777

e-mail address: sds-support@mbl.co.jp

1.4 緊急連絡先電話: 0265-76-1777(月一金曜(祝祭日を除く), 09-17時)

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

2.1 GHS分類

区分に該当しない/分類できない

2.2 GHSラベル要素

絵表示なし

注意喚起語なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別:

3.2 混合物

成分名	含有量 (%)	CAS No.	化審法番号	HAZCODE_JP
塩化ナトリウム	<0.1	7647-14-5	1-236	-
リン酸水素ナトリウム	<0.1	7558-79-4	1-497	-
塩化カリウム	<0.1	7447-40-7	1-228	-
リン酸二水素カリウム	<0.1	7778-77-0	1-452	-
アジ化ナトリウム	0.09	26628-22-8	1-482	Self-react. G; Acute Tox. 2, H300; Acute Tox. 1, H310; Skin Corr. 1, H314; Eye Dam. 1, H318; STOT SE 1, H370; STOT RE 1, H372; STOT RE 2, H373; Aquatic Acute 1, H400; Aquatic Chronic 1, H410;
アルブミン, ウシ由来(血しょう)	1.0	9048-46-8	-	-
ポリソルベート20	0.150	9005-64-5	7-110; 8-55	-
水	<97.0	7732-18-5	-	-

4. 応急措置

4.1 応急措置の記述

一般的な措置

気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

吸入した場合

気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

皮膚に付着した場合: 多量の水/適切な薬剤で洗うこと。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

気分が悪いときは医師に連絡すること。

4.2 急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状

徴候症状及び影響に関する具体的な情報なし。

4.3 医師に対する特別な注意事項

症状に応じた治療を施す。

5. 火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

使ってはならない消火剤データなし

5.2 特有の危険有害性

特有の危険有害性データなし

5.3 消火を行う者への勧告

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

6. 漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

安全に対処できる場合は漏洩を止める。

6.2 環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。

二次災害の防止策

安全に対処できるならば漏えい(洩)を止めること。

危険でなければ漏れを止める。

排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

6.4 参考情報

第8章参照

7. 取扱い及び保管上の注意

7.1 取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

安全取扱注意事項

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

接触回避データなし

衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

7.2 保管

安全な保管条件

容器を密閉しておくこと。

涼しいところに置き、日光から遮断すること。

安全な容器包装材料データなし

7.3 特定の最終用途

第1章に記載された特定の用途について、この章に記載されているアドバイスを遵守してください。

8. ばく露防止及び保護措置

8.1 管理指標

管理濃度データなし

許容濃度

(アジ化ナトリウム)

ACGIH(1996) STEL: 上限値 (アジ化ナトリウムとして) 0.29mg/m³; (アジ化水素酸の蒸気として)

0.11ppm (心臓障害; 肺損傷)

8.2 ばく露防止

保護具

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

9.1 基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態: 液体

色: 淡赤

臭いデータなし

融点/凝固点データなし

沸点範囲データなし

可燃性(ガス、液体及び固体)データなし

引火点データなし

自然発火点データなし

分解温度データなし

pH: 7.35~7.45

動粘性率データなし

溶解度:

水に対する溶解度: 溶ける

n-オクタノール/水分配係数データなし

蒸気圧データなし

密度及び/又は相対密度データなし

相対ガス密度(空気=1)データなし

粒子特性データなし

9.2 その他のデータ

その他のデータなし

10. 安定性及び反応性

10.1 反応性

反応性データなし

10.2 化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

10.3 危険有害反応可能性

危険有害反応可能性データなし

10.4 避けるべき条件

避けるべき条件データなし

10.5 混触危険物質

混触危険物質データなし

10.6 危険有害な分解生成物

危険有害な分解生成物データなし

11. 有害性情報

11.1 毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[日本公表根拠データ]

(アジ化ナトリウム)

rat LD50=45mg/kg (DFGOT vol.20, 2003)

急性毒性(経皮)

[日本公表根拠データ]

(アジ化ナトリウム)

rabbit LD50=20mg/kg (ACGIH, 2001)

労働基準法: 疾病化学物質

アジ化ナトリウム

局所効果

皮膚腐食性/刺激性

[日本公表根拠データ]

(アジ化ナトリウム)

ラビット 腐食性 (DFGOT vol.20, 2003)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[日本公表根拠データ]

(アジ化ナトリウム)

皮膚腐食性 区分1

呼吸器感作性又は皮膚感作性データなし

生殖細胞変異原性データなし

発がん性

[ACGIH]

(アジ化ナトリウム)

A4(1996): ヒト発がん性因子として分類できない

催奇形性データなし

生殖毒性データなし

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)データなし

特定標的臓器毒性(反復ばく露)データなし

誤えん有害性データなし

12. 環境影響情報

12.1 生態毒性

水生環境有害性

水生環境有害性 短期(急性)

[日本公表根拠データ]

(アジ化ナトリウム)

藻類 (Pseudokirchneriellasubcapitata) ErC50=0.348mg/L/96hr (Aquire, 2010)

水溶解度

(リン酸水素ナトリウム)

7.7 g/100 ml (20°C) (ICSC, 2006)

(塩化カリウム)

よく溶ける (ICSC, 2003)

(リン酸二水素カリウム)

22 g/100 ml (ICSC, 2005)

(アジ化ナトリウム)

よく溶ける (41.7 g/100 ml, 17°C) (ICSC, 2014)

12.2 残留性・分解性

(アジ化ナトリウム)

直接測定(HPLC)による分解度:1% (既存点検)

12.3 生体蓄積性

(リン酸水素ナトリウム)

log Pow=-5.8 (ICSC, 2006)

(塩化カリウム)

log Kow=0.15 (PHYSPROP DB, 2005)

(アジ化ナトリウム)

log Pow <= 0.3 (Check & Review, Japan)

12.4 土壤中の移動性

土壤中の移動性データなし

12.7 他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

13.1 廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

汚染容器及び包装

内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

14.1 国連番号またはID番号：該当しない

14.2 正式輸送名：該当しない

14.3 分類または区分：該当しない

14.4 容器等級：該当しない

IMDG Code (国際海上危険物規程)

14.1 国連番号またはID番号：該当しない

14.2 正式輸送名：該当しない

14.3 分類または区分：該当しない

14.4 容器等級：該当しない

IATA (航空危険物規則書)

14.1 国連番号またはID番号：該当しない

14.2 正式輸送名：該当しない

14.3 分類または区分：該当しない

14.4 容器等級：該当しない

14.5 環境有害性

海洋汚染物質 (該当/非該当): 非該当

14.6 特別の安全対策

特別の安全対策データなし

14.7 MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質

有害液体物質(Z類同等)

塩化ナトリウム

有害でない物質(OS類)

塩化カリウム; 水

MARPOL条約附属書V - HME(海洋環境に有害)

IMO規則に従うばら積みでの海上輸送は適用されない。

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法に該当しない。

航空法に該当しない。

15. 適用法令

15.1 当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

特化則に該当しない

有機則に該当しない

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物に該当しない。

化学物質管理促進(PRTR)法

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法に該当しない。

化審法

優先評価化学物質

ポリソルベート20

15.2 化学安全性評価

本製品の化学安全性評価は行なわれていない。

16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN

IMDG Code, 2020 Edition (Incorporating Amendment 40-20)

IATA 航空危険物規則書 第64版 (2023年)

2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2023 TLVs and BEIs. (ACGIH)

JIS Z 7252 : 2019

JIS Z 7253 : 2019

2022 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)

厚生労働省 基安化発0111第1号(令和4年1月11日)

Supplier's data/information

化学品安全データ管理システム "GHS Assistant" Version 4.25 (<https://www.asahi-ghs.com/>)

改訂履歴

改訂情報なし

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品

の性能について何ら保証するものではありません。
ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ（NITE 令和4年度（2022年度））です。

Anti-AAV2 Antibody ELISA Kit for Monkey

作成日: 2023年12月07日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

1.1 化学品の名称:

製品名称: Anti-AAV2 Antibody ELISA Kit for Monkey

SDS NO: 5124400001_J-1

構成品名: Conjugate diluent

品番: 5124

1.2 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途: 試験研究用

1.3 供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称: 株式会社医学生物学研究所

住所: 〒396-0002 長野県伊那市手良沢岡1018-1

担当部署: SDSサポート

電話番号: 0265-76-1777

e-mail address: sds-support@mbl.co.jp

1.4 緊急連絡先電話: 0265-76-1777(月一金曜(祝祭日を除く), 09-17時)

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

2.1 GHS分類

区分に該当しない/分類できない

2.2 GHSラベル要素

絵表示なし

注意喚起語なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別:

3.2 混合物

成分名	含有量 (%)	CAS No.	化審法番号	HAZCODE_JP
HEPES	<0.5	7365-45-9	-	-
塩化ナトリウム	<0.8	7647-14-5	1-236	-
p-ヒドロキシフェニル酢酸	1.0	156-38-7	9-1022	-
Albumin fraction V	1.0	90604-29-8	-	-
2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンと5-クロロ-2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンの混合物	<0.1	55965-84-9	5-5235; 9-378	-
水	<97.0	7732-18-5	-	-

4. 応急措置

4.1 応急措置の記述

一般的な措置

気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

吸入した場合

気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

皮膚に付着した場合:多量の水/適切な薬剤で洗うこと。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

気分が悪いときは医師に連絡すること。

- 4.2 急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状
徴候症状及び影響に関する具体的な情報なし。
- 4.3 医師に対する特別な注意事項
症状に応じた治療を施す。

5. 火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

使ってはならない消火剤データなし

5.2 特有の危険有害性

特有の危険有害性データなし

5.3 消火を行う者への勧告

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

6. 漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

安全に対処できる場合は漏洩を止める。

6.2 環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。

二次災害の防止策

安全に対処できるならば漏えい(洩)を止めること。

危険でなければ漏れを止める。

排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

6.4 参考情報

第8章参照

7. 取扱い及び保管上の注意

7.1 取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

安全取扱注意事項

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

接触回避データなし

衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

7.2 保管

安全な保管条件

- 容器を密閉しておくこと。
- 涼しいところに置き、日光から遮断すること。

安全な容器包装材料データなし

7.3 特定の最終用途

- 第1章に記載された特定の用途について、この章で記載されているアドバイスを遵守してください。

8. ばく露防止及び保護措置

8.1 管理指標

管理濃度データなし

8.2 ばく露防止

設備対策

- 適切な換気のある場所で行う。

保護具

手の保護具

- 保護手袋を着用する。

眼の保護具

- 保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

- 保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

9.1 基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態：液体

色：淡青・水色

臭いデータなし

融点/凝固点データなし

沸点又は初留点データなし

沸点範囲データなし

可燃性(ガス、液体及び固体)データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし

引火点データなし

自然発火点データなし

分解温度データなし

pH：6.45~6.55

溶解度：

- 水に対する溶解度：溶ける

n-オクタノール/水分配係数データなし

蒸気圧データなし

密度及び/又は相対密度データなし

相対ガス密度(空気=1)データなし

粒子特性データなし

9.2 その他のデータ

その他のデータなし

10. 安定性及び反応性

10.1 反応性

- 反応性データなし

10.2 化学的安定性

- 通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

- 10.3 危険有害反応可能性
 - 危険有害反応可能性データなし
- 10.4 避けるべき条件
 - 避けるべき条件データなし
- 10.5 混触危険物質
 - 混触危険物質データなし
- 10.6 危険有害な分解生成物
 - 危険有害な分解生成物データなし
- 11. 有害性情報
 - 11.1 毒性学的影響に関する情報
 - 急性毒性データなし
 - 局所効果
 - 皮膚腐食性/刺激性データなし
 - 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性データなし
 - 呼吸器感受性又は皮膚感受性データなし
 - 生殖細胞変異原性データなし
 - 発がん性データなし
 - 催奇形性データなし
 - 生殖毒性データなし
 - 特定標的臓器毒性
 - 特定標的臓器毒性(単回ばく露)データなし
 - 特定標的臓器毒性(反復ばく露)データなし
 - 誤えん有害性データなし
- 12. 環境影響情報
 - 12.1 生態毒性
 - 生態毒性データなし
 - 12.2 残留性・分解性
 - 残留性・分解性データなし
 - 12.3 生体蓄積性
 - 生体蓄積性データなし
 - 12.4 土壤中の移動性
 - 土壤中の移動性データなし
 - 12.7 他の有害影響
 - オゾン層への有害性データなし
- 13. 廃棄上の注意
 - 化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
 - 13.1 廃棄物の処理方法
 - 環境への放出を避けること。
 - 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
 - 汚染容器及び包装
 - 内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。
- 14. 輸送上の注意
 - 国連番号、国連分類
 - 14.1 国連番号またはID番号：該当しない
 - 14.2 正式輸送名：該当しない
 - 14.3 分類または区分：該当しない
 - 14.4 容器等級：該当しない
 - IMDG Code (国際海上危険物規程)

- 14.1 国連番号またはID番号：該当しない
- 14.2 正式輸送名：該当しない
- 14.3 分類または区分：該当しない
- 14.4 容器等級：該当しない

IATA (航空危険物規則書)

- 14.1 国連番号またはID番号：該当しない
- 14.2 正式輸送名：該当しない
- 14.3 分類または区分：該当しない
- 14.4 容器等級：該当しない

14.5 環境有害性

海洋汚染物質 (該当/非該当): 非該当

14.6 特別の安全対策

特別の安全対策データなし

14.7 MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質

有害液体物質(Z類同等)

塩化ナトリウム

有害でない物質(OS類)

水

MARPOL条約付属書V - HME(海洋環境に有害)

IMO規則に従うばら積みでの海上輸送は適用されない。

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法に該当しない。

航空法に該当しない。

15. 適用法令

15.1 当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令
毒物及び劇物取締法

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

特化則に該当しない

有機則に該当しない

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物に該当しない。

化学物質管理促進(PRTR)法

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法に該当しない。

化審法における特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

15.2 化学安全性評価

本製品の化学安全性評価は行なわれていない。

16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN
IMDG Code, 2020 Edition (Incorporating Amendment 40-20)
IATA 航空危険物規則書 第64版 (2023年)
2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2023 TLVs and BEIs. (ACGIH)
JIS Z 7252 : 2019
JIS Z 7253 : 2019
2022 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)
厚生労働省 基安化発0111第1号(令和4年1月11日)
Supplier's data/information

化学品安全データ管理システム “GHS Assistant” Version 4.25 (<https://www.asahi-ghs.com/>)

改訂履歴

改訂情報なし

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ（NITE 令和4年度(2022年度)）です。

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

1.1 化学品の名称:

製品名称: Anti-AAV2 Antibody ELISA Kit for Monkey

SDS NO: 5124500001_J-1

構成品名: HRP conjugated antibody

品番: 5124

1.2 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途: 試験研究用

1.3 供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称: 株式会社医学生物学研究所

住所: 〒396-0002 長野県伊那市手良沢岡1018-1

担当部署: SDSサポート

電話番号: 0265-76-1777

e-mail address: sds-support@mbl.co.jp

1.4 緊急連絡先電話: 0265-76-1777(月一金曜(祝祭日を除く), 09-17時)

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

2.1 GHS分類

区分に該当しない/分類できない

2.2 GHSラベル要素

絵表示なし

注意喚起語なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別:

3.2 混合物

成分名	含有量 (%)	CAS No.	化審法番号	HAZCODE_JP
HEPES	<0.5	7365-45-9	-	-
塩化ナトリウム	<0.8	7647-14-5	1-236	-
p-ヒドロキシフェニル酢酸	1.0	156-38-7	9-1022	-
Albumin fraction V	1.0	90604-29-8	-	-
2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンと5-クロロ-2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンの混合物	<0.1	55965-84-9	5-5235; 9-378	-
水	<97.0	7732-18-5	-	-

4. 応急措置

4.1 応急措置の記述

一般的な措置

気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

吸入した場合

気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

皮膚に付着した場合：多量の水/適切な薬剤で洗うこと。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

気分が悪いときは医師に連絡すること。

- 4.2 急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状
徴候症状及び影響に関する具体的な情報なし。
- 4.3 医師に対する特別な注意事項
症状に応じた治療を施す。

5. 火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

使ってはならない消火剤データなし

5.2 特有の危険有害性

特有の危険有害性データなし

5.3 消火を行う者への勧告

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

6. 漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

安全に対処できる場合は漏洩を止める。

6.2 環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。

二次災害の防止策

安全に対処できるならば漏えい(洩)を止めること。

危険でなければ漏れを止める。

排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

6.4 参考情報

第8章参照

7. 取扱い及び保管上の注意

7.1 取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

安全取扱注意事項

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

接触回避データなし

衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

7.2 保管

安全な保管条件

容器を密閉しておくこと。

涼しいところに置き、日光から遮断すること。

安全な容器包装材料データなし

7.3 特定の最終用途

第1章に記載された特定の用途について、この章で記載されているアドバイスを遵守してください。

8. ばく露防止及び保護措置

8.1 管理指標

管理濃度データなし

8.2 ばく露防止

設備対策

適切な換気のある場所で行う。

保護具

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

9.1 基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態：液体

色：淡青・水色

臭いデータなし

融点/凝固点データなし

沸点又は初留点データなし

沸点範囲データなし

可燃性(ガス、液体及び固体)データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし

引火点データなし

自然発火点データなし

分解温度データなし

pH：6.45~6.55

動粘性率データなし

溶解度：

水に対する溶解度：溶ける

n-オクタノール/水分配係数データなし

蒸気圧データなし

密度及び/又は相対密度データなし

相対ガス密度(空気=1)データなし

粒子特性データなし

9.2 その他のデータ

その他のデータなし

10. 安定性及び反応性

10.1 反応性

反応性データなし

10.2 化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

- 10.3 危険有害反応可能性
 - 危険有害反応可能性データなし
- 10.4 避けるべき条件
 - 避けるべき条件データなし
- 10.5 混触危険物質
 - 混触危険物質データなし
- 10.6 危険有害な分解生成物
 - 危険有害な分解生成物データなし
- 11. 有害性情報
 - 11.1 毒性学的影響に関する情報
 - 急性毒性データなし
 - 局所効果
 - 皮膚腐食性/刺激性データなし
 - 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性データなし
 - 呼吸器感受性又は皮膚感受性データなし
 - 生殖細胞変異原性データなし
 - 発がん性データなし
 - 催奇形性データなし
 - 生殖毒性データなし
 - 特定標的臓器毒性
 - 特定標的臓器毒性(単回ばく露)データなし
 - 特定標的臓器毒性(反復ばく露)データなし
 - 誤えん有害性データなし
- 12. 環境影響情報
 - 12.1 生態毒性
 - 生態毒性データなし
 - 12.2 残留性・分解性
 - 残留性・分解性データなし
 - 12.3 生体蓄積性
 - 生体蓄積性データなし
 - 12.4 土壤中の移動性
 - 土壤中の移動性データなし
 - 12.7 他の有害影響
 - オゾン層への有害性データなし
- 13. 廃棄上の注意
 - 化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
 - 13.1 廃棄物の処理方法
 - 環境への放出を避けること。
 - 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
 - 汚染容器及び包装
 - 内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。
- 14. 輸送上の注意
 - 国連番号、国連分類
 - 14.1 国連番号またはID番号：該当しない
 - 14.2 正式輸送名：該当しない
 - 14.3 分類または区分：該当しない
 - 14.4 容器等級：該当しない
 - IMDG Code (国際海上危険物規程)

- 14.1 国連番号またはID番号：該当しない
- 14.2 正式輸送名：該当しない
- 14.3 分類または区分：該当しない
- 14.4 容器等級：該当しない

IATA (航空危険物規則書)

- 14.1 国連番号またはID番号：該当しない
- 14.2 正式輸送名：該当しない
- 14.3 分類または区分：該当しない
- 14.4 容器等級：該当しない

14.5 環境有害性

海洋汚染物質 (該当/非該当): 非該当

14.6 特別の安全対策

特別の安全対策データなし

14.7 MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質

有害液体物質(Z類同等)

塩化ナトリウム

有害でない物質(OS類)

水

MARPOL条約付属書V - HME(海洋環境に有害)

IMO規則に従うばら積みでの海上輸送は適用されない。

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法に該当しない。

航空法に該当しない。

15. 適用法令

15.1 当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令
毒物及び劇物取締法

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

特化則に該当しない

有機則に該当しない

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物に該当しない。

化学物質管理促進(PRTR)法

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法に該当しない。

化審法における特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

15.2 化学安全性評価

本製品の化学安全性評価は行なわれていない。

16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN
IMDG Code, 2020 Edition (Incorporating Amendment 40-20)
IATA 航空危険物規則書 第64版 (2023年)
2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2023 TLVs and BEIs. (ACGIH)
JIS Z 7252 : 2019
JIS Z 7253 : 2019
2022 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)
厚生労働省 基安化発0111第1号(令和4年1月11日)
Supplier's data/information

化学品安全データ管理システム “GHS Assistant” Version 4.25 (<https://www.asahi-ghs.com/>)

改訂履歴

改訂情報なし

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ（NITE 令和4年度(2022年度)）です。

Anti-AAV2 Antibody ELISA Kit for Monkey

作成日: 2023年12月08日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

1.1 化学品の名称:

製品名称: Anti-AAV2 Antibody ELISA Kit for Monkey

SDS NO: 5124_6001_J-1

構成品名: Wash concentrate (20X)

品番: 5124

1.2 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途: 試験研究用

1.3 供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称: 株式会社医学生物学研究所

住所: 〒396-0002 長野県伊那市手良沢岡1018-1

担当部署: SDSサポート

電話番号: 0265-76-1777

e-mail address: sds-support@mbl.co.jp

1.4 緊急連絡先電話: 0265-76-1777(月一金曜(祝祭日を除く), 09-17時)

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

2.1 GHS分類

区分に該当しない/分類できない

2.2 GHSラベル要素

絵表示なし

注意喚起語なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別:

3.2 混合物

成分名	含有量 (%)	CAS No.	化審法番号	HAZCODE_JP
リン酸二水素ナトリウム	<2.5	7558-80-7	1-497	-
塩化ナトリウム	<18.0	7647-14-5	1-236	-
ポリソルベート20	<2.8	9005-64-5	7-110; 8-55	-
水酸化ナトリウム	<0.6	1310-73-2	1-410	Skin Corr. 1, H314; Eye Dam. 1, H318; STOT SE 1, H370; Aquatic Acute 3, H402;
水	<77.0	7732-18-5	-	-

4. 応急措置

4.1 応急措置の記述

一般的な措置

気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

吸入した場合

気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

皮膚に付着した場合: 多量の水/適切な薬剤で洗うこと。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

気分が悪いときは医師に連絡すること。

- 4.2 急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状
徴候症状及び影響に関する具体的な情報なし。

- 4.3 医師に対する特別な注意事項
症状に応じた治療を施す。

5. 火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

使ってはならない消火剤データなし

5.2 特有の危険有害性

特有の危険有害性データなし

5.3 消火を行う者への勧告

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

6. 漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

安全に対処できる場合は漏洩を止める。

6.2 環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。

二次災害の防止策

安全に対処できるならば漏えい(洩)を止めること。

危険でなければ漏れを止める。

排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

6.4 参考情報

第8章参照

7. 取扱い及び保管上の注意

7.1 取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

安全取扱注意事項

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

接触回避データなし

衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

7.2 保管

安全な保管条件

容器を密閉しておくこと。

涼しいところに置き、日光から遮断すること。

安全な容器包装材料データなし

7.3 特定の最終用途

第1章に記載された特定の用途について、この章で記載されているアドバイスを遵守してください。

8. ばく露防止及び保護措置

8.1 管理指標

管理濃度データなし

許容濃度

(水酸化ナトリウム)

日本産衛学会(1978) (最大許容濃度) 2mg/m³

(水酸化ナトリウム)

ACGIH(1992) STEL: 上限値 2mg/m³ (上気道, 眼及び皮膚刺激)

8.2 ばく露防止

設備対策

適切な換気のある場所で取扱う。

保護具

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

9.1 基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態：液体

色：無色

臭いデータなし

融点/凝固点データなし

沸点又は初留点データなし

可燃性(ガス、液体及び固体)データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし

引火点データなし

自然発火点データなし

分解温度データなし

pH：6.4

動粘性率データなし

溶解度：

水に対する溶解度：溶ける

n-オクタノール/水分配係数データなし

蒸気圧データなし

密度及び/又は相対密度データなし

相対ガス密度(空気=1)データなし

粒子特性データなし

9.2 その他のデータ

その他のデータなし

10. 安定性及び反応性

10.1 反応性

- 反応性データなし
 - 10.2 化学的安定性
 - 通常の保管条件/取扱い条件において安定である。
 - 化学的安定性データなし
 - 10.3 危険有害反応可能性
 - 危険有害反応可能性データなし
 - 10.4 避けるべき条件
 - 避けるべき条件データなし
 - 10.5 混触危険物質
 - 混触危険物質データなし
 - 10.6 危険有害な分解生成物
 - 危険有害な分解生成物データなし
11. 有害性情報
- 11.1 毒性学的影響に関する情報
 - 急性毒性データなし
 - 労働基準法: 疾病化学物質
 - 水酸化ナトリウム
 - 局所効果
 - 皮膚腐食性/刺激性
 - [日本公表根拠データ]
 - (水酸化ナトリウム)
 - ブタ/ラビット 重度の壊死 (ACGIH 7th, 2001 et al)
 - 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
 - [日本公表根拠データ]
 - (水酸化ナトリウム)
 - ラビット 腐食性 (SIDS, 2009)
 - 呼吸器感作性又は皮膚感作性データなし
 - 生殖細胞変異原性データなし
 - 発がん性データなし
 - 催奇形性データなし
 - 生殖毒性データなし
 - 特定標的臓器毒性
 - 特定標的臓器毒性(単回ばく露)データなし
 - 特定標的臓器毒性(反復ばく露)データなし
 - 誤えん有害性データなし
12. 環境影響情報
- 12.1 生態毒性
 - 水生環境有害性
 - 水生環境有害性 短期(急性)
 - [日本公表根拠データ]
 - (水酸化ナトリウム)
 - 甲殻類 (ネコゼミジンコ属) LC50=40.4mg/L/48hr (SIDS, 2004)
 - 水溶解度
 - (水酸化ナトリウム)
 - 109 g/100 ml (20°C) (ICSC, 2010)
 - 12.2 残留性・分解性
 - 残留性・分解性データなし
 - 12.3 生体蓄積性
 - 生体蓄積性データなし
 - 12.4 土壤中の移動性

- 土壌中の移動性データなし
- 12.7 他の有害影響
オゾン層への有害性データなし
13. 廃棄上の注意
化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
- 13.1 廃棄物の処理方法
環境への放出を避けること。
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
汚染容器及び包装
内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。
14. 輸送上の注意
- 国連番号、国連分類
- 14.1 国連番号またはID番号：該当しない
14.2 正式輸送名：該当しない
14.3 分類または区分：該当しない
14.4 容器等級：該当しない
- IMDG Code (国際海上危険物規程)
- 14.1 国連番号またはID番号：該当しない
14.2 正式輸送名：該当しない
14.3 分類または区分：該当しない
14.4 容器等級：該当しない
- IATA (航空危険物規則書)
- 14.1 国連番号またはID番号：該当しない
14.2 正式輸送名：該当しない
14.3 分類または区分：該当しない
14.4 容器等級：該当しない
- 14.5 環境有害性
海洋汚染物質 (該当/非該当): 非該当
- 14.6 特別の安全対策
特別の安全対策データなし
- 14.7 MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質
有害液体物質(Y類)
水酸化ナトリウム
有害液体物質(Z類同等)
塩化ナトリウム
有害でない物質(OS類)
水
MARPOL条約附属書V - HME(海洋環境に有害)
IMO規則に従うばら積みでの海上輸送は適用されない。
国内規制がある場合の規制情報
船舶安全法に該当しない。
航空法に該当しない。
15. 適用法令
- 15.1 当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令
毒物及び劇物取締法
毒物及び劇物取締法に該当しない。
労働安全衛生法
特化則に該当しない

有機則に該当しない

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物に該当しない。

化学物質管理促進(PRTR)法

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法に該当しない。

化審法

優先評価化学物質

ポリソルベート20

水質汚濁防止法

指定物質

水酸化ナトリウム

法令番号 6

15.2 化学安全性評価

本製品の化学安全性評価は行なわれていない。

16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN

IMDG Code, 2020 Edition (Incorporating Amendment 40-20)

IATA 航空危険物規則書 第64版 (2023年)

2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2023 TLVs and BEIs. (ACGIH)

JIS Z 7252 : 2019

JIS Z 7253 : 2019

2022 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)

厚生労働省 基安化発0111第1号(令和4年1月11日)

Supplier's data/information

化学品安全データ管理システム "GHS Assistant" Version 4.25 (<https://www.asahi-ghs.com/>)

改訂履歴

改訂情報なし

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 令和4年度(2022年度))です。

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

1.1 化学品の名称:

製品名称: Anti-AAV2 Antibody ELISA Kit for Monkey

SDS NO: 5124_7001_J-1

構成品名: Substrate reagent

品番: 5124

1.2 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途: 試験研究用

1.3 供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称: 株式会社医学生物学研究所

住所: 〒396-0002 長野県伊那市手良沢岡1018-1

担当部署: SDSサポート

電話番号: 0265-76-1777

e-mail address: sds-support@mbl.co.jp

1.4 緊急連絡先電話: 0265-76-1777(月一金曜(祝祭日を除く), 09-17時)

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

2.1 GHS分類

区分に該当しない/分類できない

2.2 GHSラベル要素

絵表示なし

注意喚起語なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別:

3.2 混合物

成分名	含有量 (%)	CAS No.	化審法番号	HAZCODE_JP
エデト酸ナトリウム水和物; エチレンジアミン四酢酸二ナトリウム; EDTA ナトリウム	0.13	6381-92-6	2-1265	-
3,3',5,5'-テトラメチルベンジジン	0.05	54827-17-7	-	-
ジメチルスルホキシド	1.10	67-68-5	2-1553	Flam. Liq. 4, H227; STOT SE 2, H371;
過酸化水素; オキシドール	0.04	7722-84-1	1-419	Ox. Liq. 1, H271; Acute Tox. 4, H302; Acute Tox. 3, H311; Acute Tox. 2, H330; Skin Corr. 1, H314; Eye Dam. 1, H318; Carc. 2, H351; STOT SE 1, H370; STOT RE 1, H372; Aquatic Acute 1, H400;
水	98.00<	7732-18-5	-	-

危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

ジメチルスルホキシド(令和8年4月1日施行)

安衛法「通知すべき有害物」該当成分
ジメチルスルホキサイド(令和8年4月1日施行)

4. 応急措置

4.1 応急措置の記述

一般的な措置

気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

吸入した場合

気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

皮膚に付着した場合:多量の水/適切な薬剤で洗うこと。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

気分が悪いときは医師に連絡すること。

4.2 急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状

(皮膚に付着もしくは目に入った場合の症状)

刺激性

4.3 医師に対する特別な注意事項

症状に応じた治療を施す。

5. 火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

使ってはならない消火剤データなし

5.2 特有の危険有害性

特有の危険有害性データなし

5.3 消火を行う者への勧告

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

6. 漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

安全に対処できる場合は漏洩を止める。

6.2 環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。

二次災害の防止策

安全に対処できるならば漏えい(洩)を止めること。

危険でなければ漏れを止める。

排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

6.4 参考情報

第13章参照

7. 取扱い及び保管上の注意

7.1 取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

安全取扱注意事項

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

接触回避データなし

衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

7.2 保管

安全な保管条件

容器を密閉しておくこと。

涼しいところに置き、日光から遮断すること。

安全な容器包装材料データなし

7.3 特定の最終用途

第1章に記載された特定の用途について、この章に記載されているアドバイスを遵守してください。

8. ばく露防止及び保護措置

8.1 管理指標

管理濃度データなし

許容濃度

(過酸化水素; オキシドール)

ACGIH(1996) TWA: 1ppm (眼, 上気道及び皮膚刺激)

8.2 ばく露防止

設備対策

適切な換気のある場所で取扱う。

保護具

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

9.1 基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態：液体

色：淡黄色

臭いデータなし

融点/凝固点データなし

沸点又は初留点データなし

沸点範囲データなし

可燃性(ガス、液体及び固体)データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし

引火点データなし

自然発火点データなし

分解温度データなし

pH：4.9±0.5

動粘性率データなし

溶解度：

水に対する溶解度：溶ける

n-オクタノール/水分配係数データなし
蒸気圧データなし
密度及び/又は相対密度データなし
相対ガス密度(空気=1)データなし
粒子特性データなし

9.2 その他のデータ
その他のデータなし

10. 安定性及び反応性

- 10.1 反応性
反応性データなし
- 10.2 化学的安定性
通常の保管条件/取扱い条件において安定である。
- 10.3 危険有害反応可能性
危険有害反応可能性データなし
- 10.4 避けるべき条件
避けるべき条件データなし
- 10.5 混触危険物質
混触危険物質データなし
- 10.6 危険有害な分解生成物
危険有害な分解生成物データなし

11. 有害性情報

11.1 毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[日本公表根拠データ]
(ジメチルスルホキサイド)
rat LD50=14500mg/kg (環境省リスク評価書第13巻, 2015)
(過酸化水素; オキシドール)
rat LD50=805mg/kg (DFGOT vol.26, 2011)

急性毒性(経皮)

[日本公表根拠データ]
(ジメチルスルホキサイド)
rat LD50=40000mg/kg (環境省リスク評価書第13巻, 2015)
(過酸化水素; オキシドール)
rabbit LD50=690mg/kg (DFGOT vol.26, 2011)

急性毒性(吸入)

[日本公表根拠データ]
(ジメチルスルホキサイド)
mist: rat LC50 >5330mg/m³ (5.33mg/L) (SIDS, 2008)
(過酸化水素; オキシドール)
mist: mouse LC50=0.46-1.00mg/L/4hr (DFGOT vol.26, 2011)
vapor: rat LC50=1438ppmV/4hr (DFGOT vol.26, 2011)

労働基準法: 疾病化学物質

過酸化水素; オキシドール

局所効果

皮膚腐食性/刺激性

[日本公表根拠データ]
(過酸化水素; オキシドール)
ラビット 腐食性 (EU-RAR, 2003 et al)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[日本公表根拠データ]
 (過酸化水素; オキシドール)
 動物 腐食性 (EU-RAR, 2003)
 呼吸器感作性又は皮膚感作性データなし
 生殖細胞変異原性データなし
 発がん性
 [IARC]
 (過酸化水素; オキシドール)
 Group 3: ヒトに対する発がん性については分類できない
 [ACGIH]
 (過酸化水素; オキシドール)
 A3(1996): 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明
 催奇形性データなし
 生殖毒性データなし
 特定標的臓器毒性
 特定標的臓器毒性(単回ばく露)
 [区分2]
 [日本公表根拠データ]
 (ジメチルスルホキサイド)
 呼吸器 (SIDS, 2008)
 特定標的臓器毒性(反復ばく露)データなし
 誤えん有害性データなし

12. 環境影響情報

12.1 生態毒性

水生環境有害性

水生環境有害性 短期(急性)

[日本公表根拠データ]

(ジメチルスルホキサイド)

甲殻類 (ブラインシュリンプ) EC50=6830mg/L/24hr(環境省リスク評価第13巻, 2015)

(過酸化水素; オキシドール)

藻類 (ニッチア) EC50=0.85mg/L/72hr (EU-RAR, 2003)

水溶解度

(ジメチルスルホキサイド)

混和する (ICSC, 2000)

(過酸化水素; オキシドール)

混和する (ICSC, 2000)

12.2 残留性・分解性

(過酸化水素; オキシドール)

急速分解性あり (EU-RAR, 2003)

12.3 生体蓄積性

(ジメチルスルホキサイド)

log Pow=-1.35 (calculated) (ICSC, 2000)

(過酸化水素; オキシドール)

log Pow=-1.36 (ICSC, 2000)

12.4 土壤中の移動性

土壤中の移動性データなし

12.7 他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

13.1 廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

汚染容器及び包装

内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

14.1 国連番号またはID番号：該当しない

14.2 正式輸送名：該当しない

14.3 分類または区分：該当しない

14.4 容器等級：該当しない

IMDG Code (国際海上危険物規程)

14.1 国連番号またはID番号：該当しない

14.2 正式輸送名：該当しない

14.3 分類または区分：該当しない

14.4 容器等級：該当しない

IATA (航空危険物規則書)

14.1 国連番号またはID番号：該当しない

14.2 正式輸送名：該当しない

14.3 分類または区分：該当しない

14.4 容器等級：該当しない

14.5 環境有害性

海洋汚染物質 (該当/非該当): 非該当

14.6 特別の安全対策

特別の安全対策データなし

14.7 MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質

有害でない物質(OS類)

水

MARPOL条約付属書V - HME(海洋環境に有害)

IMO規則に従うばら積みでの海上輸送は適用されない。

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法に該当しない。

航空法に該当しない。

15. 適用法令

15.1 当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

特化則に該当しない

有機則に該当しない

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

名称表示危険/有害物

ジメチルスルホキシド(令和8年4月1日施行)

名称通知危険/有害物

ジメチルスルホキシド(令和8年4月1日施行)

化学物質管理促進(PRTR)法

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法に該当しない。

化審法

優先評価化学物質

エドト酸ナトリウム水和物; エチレンジアミン四酢酸二ナトリウム; EDTAナトリウム

水質汚濁防止法

指定物質

過酸化水素; オキシドール

法令番号 4

15.2 化学安全性評価

本製品の化学安全性評価は行なわれていない。

16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN

IMDG Code, 2020 Edition (Incorporating Amendment 40-20)

IATA 航空危険物規則書 第64版 (2023年)

2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2023 TLVs and BEIs. (ACGIH)

JIS Z 7252 : 2019

JIS Z 7253 : 2019

2022 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)

厚生労働省 基安化発0111第1号(令和4年1月11日)

Supplier's data/information

化学品安全データ管理システム "GHS Assistant" Version 4.25 (<https://www.asahi-ghs.com/>)

改訂履歴

改訂情報なし

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 令和4年度(2022年度))です。

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

1.1 化学品の名称:

製品名称: Anti-AAV2 Antibody ELISA Kit for Monkey

SDS NO: 5124_8001_J-1

構成品名: Stop solution

品番: 5124

1.2 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途: 試験研究用

1.3 供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称: 株式会社医学生物学研究所

住所: 〒396-0002 長野県伊那市手良沢岡1018-1

担当部署: SDSサポート

電話番号: 0265-76-1777

e-mail address: sds-support@mbl.co.jp

1.4 緊急連絡先電話: 0265-76-1777(月一金曜(祝祭日を除く), 09-17時)

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

2.1 GHS分類

健康に対する有害性

皮膚腐食性/刺激性: 区分 1

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 区分 1

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 2

特定標的臓器毒性(反復ばく露): 区分 2

環境有害性

水生環境有害性 長期(慢性): 区分 3

2.2 GHSラベル要素



注意喚起語: 危険

危険有害性情報

H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

H318 重篤な眼の損傷

H371 臓器の障害のおそれ

H373 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

H412 長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

安全対策

P273 環境への放出を避けること。

P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

P264 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

P280 保護手袋/保護衣/保護面を着用すること。

P280 保護眼鏡/保護面を着用すること。

P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

- P314 気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
 P310 直ちに医師に連絡すること。
 P308 + P311 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
 P304 + P340 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 P303 + P361 + P353 皮膚(又は髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
 P363 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
 P305 + P351 + P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 P301 + P330 + P331 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
 廃棄
 P501 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：

3.2 混合物

成分名	含有量 (%)	CAS No.	化審法番号	HAZCODE_JP
硫酸	2.5	7664-93-9	1-430	Acute Tox. 2, H330; Skin Corr. 1A-1C, H314; Eye Dam. 1, H318; STOT SE 1, H370; STOT RE 1, H372; Aquatic Acute 3, H402; Aquatic Chronic 1, H410;
水	<98.0	7732-18-5	-	-

危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

硫酸

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

硫酸

4. 応急措置

4.1 応急措置の記述

一般的な措置

- 気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
 直ちに医師に連絡すること。
 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。

吸入した場合

- 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

- 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
 皮膚に付着した場合：多量の水/適切な薬剤で洗うこと。

眼に入った場合

- 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

- 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
 気分が悪いときは医師に連絡すること。

4.2 急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状

(皮膚に付着もしくは目に入った場合の症状)

- 刺激性
 眼刺激

- 4.3 医師に対する特別な注意事項
症状に応じた治療を施す。

5. 火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

使ってはならない消火剤データなし

5.2 特有の危険有害性

燃焼の際に有毒な硫黄酸化物を生成する。

5.3 消火を行う者への勧告

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

6. 漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

安全に対処できる場合は漏洩を止める。

6.2 環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。

二次災害の防止策

安全に対処できるならば漏えい(洩)を止めること。

危険でなければ漏れを止める。

排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

6.4 参考情報

第8章参照

7. 取扱い及び保管上の注意

7.1 取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

(注意事項)

皮膚に触れないようにする。

眼に入らないようにする。

安全取扱注意事項

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

保護手袋/保護衣/保護面を着用すること。

保護眼鏡/保護面を着用すること。

接触回避

塩基、強塩基、還元性物質、強還元性物質との接触を避けること。

衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

7.2 保管

安全な保管条件

容器を密閉しておくこと。
涼しいところに置き、日光から遮断すること。
国際/国/地方の規則に従って保管すること。

安全な容器包装材料
他の容器に移し替えないこと。

7.3 特定の最終用途

第1章に記載された特定の用途について、この章で記載されているアドバイスを遵守してください。

8. ばく露防止及び保護措置

8.1 管理指標

管理濃度データなし

許容濃度

(硫酸)

日本産衛学会(2000) (最大許容濃度) 1mg/m³

(硫酸)

ACGIH(2004) TWA: 0.2mg/m³(T) (肺機能)

8.2 ばく露防止

保護具

手の保護具

保護手袋を着用する。推奨材質: ネオプレン、非浸透性もしくは耐化学品ゴム
承認された規格に準拠した耐薬品性、非浸透性の手袋を使用すること。

眼の保護具

側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

9.1 基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態: 液体

色: 無色

臭いデータなし

融点/凝固点データなし

沸点又は初留点データなし

沸点範囲データなし

引火点データなし

自然発火点データなし

分解温度データなし

pH: 1

動粘性率データなし

溶解度:

水に対する溶解度データなし

n-オクタノール/水分配係数データなし

蒸気圧データなし

密度及び/又は相対密度データなし

相対ガス密度(空気=1)データなし

粒子特性データなし

9.2 その他のデータ

その他のデータなし

10. 安定性及び反応性

10.1 反応性

反応性データなし

10.2 化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

10.3 危険有害反応可能性

危険有害反応可能性データなし

10.4 避けるべき条件

避けるべき条件データなし

10.5 混触危険物質

強酸、強塩基、還元性物質

10.6 危険有害な分解生成物

硫黄酸化物

11. 有害性情報

11.1 毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[日本公表根拠データ]

(硫酸)

rat LD50=2140mg/kg (SIDS, 2001)

急性毒性(吸入)

[日本公表根拠データ]

(硫酸)

mist: rat LC50=0.347mg/L/4hr (SIDS, 2001)

労働基準法: 疾病化学物質

硫酸

局所効果

皮膚腐食性/刺激性

[pHに基づく分類根拠]

pH ≤ 2 であることから、皮膚腐食性/刺激性: 区分1に分類した。

[日本公表根拠データ]

(硫酸)

腐食性物質

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[pHに基づく分類根拠]

pH ≤ 2 であることから、眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 区分1に分類した。

[日本公表根拠データ]

(硫酸)

ヒト 重篤な損傷 (ATSDR, 1998)

呼吸器感作性又は皮膚感作性データなし

生殖細胞変異原性データなし

発がん性

[IARC]

(硫酸)

Group 1: ヒトに対して発がん性がある

[ACGIH]

(硫酸)

A2(2004): ヒト発がん性の疑いがある

催奇形性データなし

生殖毒性データなし

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(硫酸)

呼吸器系 (ATSDR, 1998)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(硫酸)

呼吸器系 (ATSDR, 1998)

誤えん有害性データなし

12. 環境影響情報

12.1 生態毒性

水生環境有害性

水生環境有害性 短期(急性)

[日本公表根拠データ]

(硫酸)

魚類(ブルーギル) LC50(pH3.25-3.5)=16-28mg/L/96hr (OECD SIDS, 2001)

水生環境有害性 長期(慢性)

[日本公表根拠データ]

(硫酸)

魚類(カダヤシ) NOEC(成長)(pH6.0)=0.025mg/L/45days (OECD SIDS, 2001)

水溶解度

(硫酸)

混和する (ICSC, 2000)

12.2 残留性・分解性

残留性・分解性データなし

12.3 生体蓄積性

生体蓄積性データなし

12.4 土壌中の移動性

土壌中の移動性データなし

12.7 他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

13.1 廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

汚染容器及び包装

内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

14.1 国連番号またはID番号 : 2796

14.2 正式輸送名 :

硫酸(濃度が51質量%以下のものに限る。)又は電池液(酸性のものに限る。)

該当しない

14.3 分類または区分 : 8

該当しない

14.4 容器等級 : II該当しない

指針番号: 157

IMDG Code (国際海上危険物規程)

14.1 国連番号またはID番号 : 2796

該当しない

14.2 正式輸送名 :

硫酸(濃度が51質量%以下のものに限る。)又は電池液(酸性のものに限る。)

該当しない

14.3 分類または区分 : 8

該当しない

14.4 容器等級 : II

該当しない

IATA (航空危険物規則書)

14.1 国連番号またはID番号 : 2796

該当しない

14.2 正式輸送名 :

硫酸(濃度が51質量%以下のものに限る。)又は電池液(酸性のものに限る。)

該当しない

14.3 分類または区分 : 8

危険性ラベル : Corrosive

該当しない

14.4 容器等級 : II

該当しない

14.5 環境有害性

海洋汚染物質 (該当/非該当): 非該当

14.6 特別の安全対策

特別の安全対策データなし

14.7 MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質

有害液体物質(Y類)

硫酸

有害でない物質(OS類)

水

MARPOL条約付属書V - HME(海洋環境に有害)

特定標的臓器毒性, 反復ばく露: 区分1 該当物質

硫酸

水生環境有害性: 長期(慢性) 区分1, 2 該当物質

硫酸

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法に該当しない。

航空法に該当しない。

15. 適用法令

15.1 当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

特化則 特定化学物質 第3類

硫酸

有機則に該当しない

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

名称表示危険/有害物

硫酸

名称通知危険/有害物

硫酸

化学物質管理促進(PRTR)法

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法に該当しない。

化審法における特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

大気汚染防止法

特定物質 政令第10条第1号から第28号

硫酸

廃棄物処理法

特別管理産業廃棄物:pH2.0以下の廃酸

水質汚濁防止法

指定物質

硫酸

法令番号 15

15.2 化学安全性評価

本製品の化学安全性評価は行なわれていない。

16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN

IMDG Code, 2020 Edition (Incorporating Amendment 40-20)

IATA 航空危険物規則書 第64版 (2023年)

2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2023 TLVs and BEIs. (ACGIH)

JIS Z 7252 : 2019

JIS Z 7253 : 2019

2022 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)

厚生労働省 基安化発0111第1号(令和4年1月11日)

Supplier's data/information

化学品安全データ管理システム "GHS Assistant" Version 4.25 (<https://www.asahi-ghs.com/>)

改訂履歴

改訂情報なし

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 令和4年度(2022年度))です。